

プレスリリース

配信日：2025年10月28日

発信元：日本ユニセフ協会



子どもの権利の実現とSDGsへの取り組みを呼びかける ユニセフ・キャラバン・キャンペーン 島根県で開催（4年ぶり11回目）

- 11月4日（火）教職員向け「ユニセフ研修会」開催
奥出雲町内の高等学校で「ユニセフ教室」実施
- 11月5日（水）知事・教育長とメッセージ交換
松江市内の中学校で「ユニセフ教室」実施

【2025年10月28日 東京発】

公益財団法人 日本ユニセフ協会（東京都港区、会長：高須幸雄）は、11月4日（火）～5日（水）に、「島根県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」を実施いたします。

ユニセフ・キャラバン・キャンペーンは、世界の子どもたちの現状やユニセフ（国連児童基金）の活動に関する知識・認識の普及・啓発を目的に1979年の『国際児童年』を記念してスタートしました。毎年全国の11～12ほどの道府県を訪れ、知事や教育長を訪問し、世界の子どもたちの現状の理解促進を図っていただくよう働きかけを続けています。併せて、学校の先生方及び教育委員会・教育庁の指導主事の方々等を対象とした「ユニセフ研修会」や、学校での「ユニセフ教室」を開催しています。

「島根県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」の実施は1980年、1987年、1992年、1996年、2000年、2004年、2008年、2012年、2016年、2021年に続き、今回で11回目となります。

11月4日（火）午前に、教職員を対象とした「ユニセフ研修会」を開催します。研修会では、世界の子どもたちを取り巻く現状やユニセフの活動について紹介するほか、「子どもの権利条約」やSDGsについて、児童・生徒にどう伝え学校生活でどう活用していくかを、グループワークを交えながら考えます。

11月5日（水）午前には、県庁にて丸山 達也知事（代理：石原 恵利子副知事）および野津 建二教育長（代理：京谷 大輔副教育長）を訪問してメッセージ交換を行い、県内の皆さまからのユニセフへのご支援に対する感謝をお伝えします。併せて、世界の子どもたちが置かれている厳しい状況への理解をより広め、持続可能な世界の実現を目指すため、さらなる連携とお力添えをお願いする予定です。

また、11月4日（火）午後に島根県立横田高等学校、11月5日（水）午後に松江市立第三中学校を訪問し、「ユニセフ教室」を実施します。紛争や気候変動を中心に、世界の子どもたちが直面している課題について、写真や映像を用いて児童・生徒に授業を行います。授業の中では、水道が普及していないネパールの農村で子どもたちが家族のための水汲みに使っている真鍮製の水がめ（水を入れて約15kg）や、マラリア予防のための蚊帳のほか、世界各地で使われている支援物資の実物などに、児童・生徒が実際に触れ、体験します。「子どもの権利条約」やSDGs（持続可能な開発目標）にも触れながら、これから目指す世界について考え、児童・生徒の一人ひとりが変化を生み出す主役として行動を起こすよう呼びかけます。

報道機関の皆さんにおかれましては、注意事項をご参照のうえ、ぜひご取材くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

月 日	時 間	行 事	ご取材 可否
11月4日(火)	9:30～12:00	ユニセフ研修会 参加者：県内教職員（指導主事・社会教育主事200名） 於：くにびきメッセ 小ホール	可
	14:20～16:10	ユニセフ教室 開催校：島根県立横田高等学校 参加学年：1年生（63名）	可
11月5日(水)	9:40～10:00	知事（代理：石原恵利子 副知事）への 表敬訪問とメッセージ交換 於：301会議室（島根県庁本庁舎3階）	可
	10:00～10:15	取材対応 於：応接室（島根県庁本庁舎3階）	
	10:40～11:00	教育長（代理：京谷 大輔副教育長）への 表敬訪問とメッセージ交換 於：教育長室	
	14:45～15:35	ユニセフ教室 開催校：松江市立第三中学校 参加学年：1年生（71名）・2年生（80名）	可

* 取材をご検討いただけます場合、必ず県担当者様（下記参照）へ事前連絡（10月30日（木）17:00まで）の後、
そのご指示のもとご取材ください。

お問い合わせ：（公財）日本ユニセフ協会 学校事業部
担当：石尾・高円
TEL：03-5789-2014 / E-mail：se-jcu@unicef.or.jp

<重要>ご取材をご検討の場合は、県ご担当者様に事前連絡をお願いいたします。

島根県教育庁学校教育課 中村・恩田 TEL：0852-22-6865 / 5419
/ E-mail：gakkoukyouiku@pref.shimane.lg.jp

* * *

■ ユニセフについて

ユニセフ（UNICEF：国際連合児童基金）は、すべての子どもの権利と健やかな成長を促進するために活動する国連機関です。現在約190の国と地域※で、多くのパートナーと協力し、その理念をさまざまな形で具体的な行動に移しています。特に、最も困難な立場にある子どもたちへの支援に重点を置きながら、世界中のあらゆる場所で、すべての子どもたちのために活動しています。ユニセフの活動資金は、すべて個人や企業・団体からの募金や各国政府からの任意拠出金で支えられています。（<https://www.unicef.org>）

※ユニセフ国内委員会（ユニセフ協会）が活動する32の国と地域を含みます

■ 日本ユニセフ協会について

公益財団法人 日本ユニセフ協会は、32の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会の一つで、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、募金活動、アドボカシーを担っています。（<https://www.unicef.or.jp>）